

「経済財政運営と構造改革に関する基本方針 2005 について」
(骨太の方針 2005)(抜粋)

(2005 年 6 月 21 日閣議決定)

「 6 . グローバル戦略の強化

(略) また、ミレニアム開発目標に寄与するため O D A の対 G N I 比 0.7 % 目標の達成に引き続き努力するとの観点から、我が国にふさわしい十分な O D A の水準を確保する。

このため、別表 1 の (6) の取組を行う。」

別表 1 (6)

「(O D A の事業量の戦略的拡充と改革)

- ・ O D A については、諸外国の動向を踏まえ、我が国の外交を効果的に展開するため、内容を精査し、効率化を進めつつ、事業量の戦略的拡充を図る。その際、重点地域及び重点分野を明確化し、官民のパートナーシップを強化する。
- ・ O D A については、国会における決算審査等の結果をいかし、適正な実施を図る。O D A プロジェクトの成果について、費用対効果を含め第三者による客観的評価を行い、その結果を公表するとともに、O D A 政策の企画・実施に反映させるサイクル (P D C A サイクル) を確立させる。特に、無償資金協力等について、プロジェクトに要したコストを含む定量的な事後評価の実施を徹底し、調達コストの縮減を含め、より効率的な執行に改善する。」

(了)